

テレパームISシステム発信器

半導体ストレンゲージ式低差圧、高差圧高耐圧発信器、フランジ液面発信器など追加開発品を完成しました。

テレパームISシステムは昨春発売以来ご好評を得ていますが、その中で特に半導体ストレンゲージ式発信器は、多くの特長と性能、信頼性の高さで注目を集めています。

このたびISシステム発信器の中で一部、力平衡式として残っていた機種、すなわち低差圧用、高差圧高耐圧用、フランジ液面用などの半導体ストレンゲージ式への開発の切換えを完了しました。それと同時に従来品も含めて特殊耐食材質の充実、零点遷移量の拡大、現場指示計内蔵形の完成など仕様面の一層の拡充が行なわれています。

これによりテレパームISシステム発信器群には力平衡式はなくなり、すべて半導体ストレンゲージ式（一部アブリフ式は残る）となります。

圧力(形式:FAC), 絶対圧力(FAA), 微差圧(FEA), 差圧(FEC), 液面(ディスプレイサ式(FNC), フランジ式(FNA), 隔膜槽付圧力, 差圧(FAD, FED)空電変換(FAE)などプロセス用電気式検出端のシリーズをすべて半導体ストレンゲージ式として完成したのはテレパームISシステムが世界最初であります。

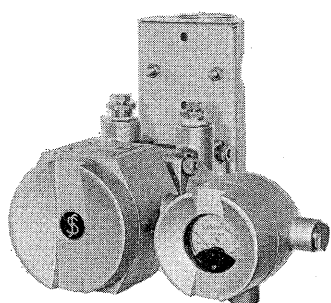
なお追加開発品の詳細技術説明については次号に発表を予定しているのでご参照下さい。

特長

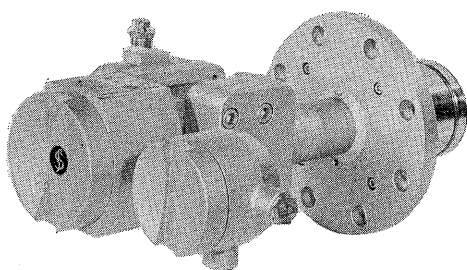
1. 力平衡式にくらべ機構部が大幅に減少し、小形軽量化され

ている。

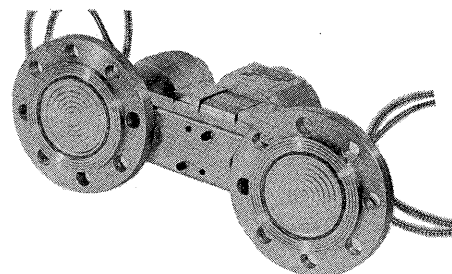
2. 可動部がなく、機構部がシンプルで高性能、高信頼性である。
3. 振動、衝撃、傾斜などの影響がいちじるしく減少している。
4. 金属ダイアフラムの受圧部で64 mmH₂Oの低差圧から200,000 mmH₂Oの高差圧の範囲までカバーされている。合成ゴムダイアフラムを使用すれば10 mmH₂Oの微差圧も測定可能である。
5. 力平衡式のように高压容器からの機構的シール部がないため静圧特性が向上し、500 kg/cm²の高耐圧が容易である。
6. 半導体ストレンゲージのピエゾ抵抗効果を利用して測定するので出力が大きく、増幅器はシンプルな直結直流増幅器で済み高信頼性である。
7. 力平衡式にくらべ測定容量変化が約1/10と小さいので(0.1cc程度)隔膜槽つきの特性が良好で、各種の特殊耐食材質の製作が容易である。
8. 応答が速く、また必要により増幅部に電氣的ダンピングを付加することができる。したがってニードル弁と封入液による方式にくらべ調整が容易で温度による特性の変化が少なく封入液のない検出部にも取付けることができる。
9. 端子箱は増幅部と別置になっており取扱、配線が容易である。また現場指示計を内蔵することもできる。
10. 検定合格済みのテレパームバリエータと組合せてシステム本質安全防爆が可能である。



テレパーム差圧発信器



フランジ液面発信器



隔膜槽付差圧発信器

仕様

品名	形式	使用圧力 (kg/cm ²)	測定範囲 (mmH ₂ O)	材質	零点遷移量 (%)	重量 (kg)
テレパーム差圧発信器	FEC11,22	25または100	0~64...640	SUS32その他特殊耐食材質	-1,000~+900	約9
	FEC36,37	200	0~20,000...200,000	SUS32その他特殊耐食材質	-1,000~+900	約13
	FEC46,47	500	0~20,000...200,000	SUS32その他特殊耐食材質	-1,000~+900	
フランジ液面発信器	FNA	10,30,または63	0~640...20,000	SUS32その他特殊耐食材質	-1,000~+900	約20~37

現場指示計：端子箱に内蔵または別置、許容差±2.0% 0~100%等分目盛または2乗目盛
入力 DC4~20mAまたはDC10~50mA



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。